

かさま
No.48

社協だより



編集・発行 2022.8.18

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL https://www.kasama-syakyo.jp/



サロンあゆみ（吉岡二区）

撮影 畠山

も く じ

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| ① 令和3年度 社協事業報告および決算報告 | 2～3 |
| ② 『社協』を知っていますか？その7 | 4 |
| ③ ふれあいサロンあゆみ・サロン交流会 | 5 |
| ④ ボランティアセンターだより | 6～7 |
| ⑤ 支部・地区社協運営委員が決定・広報委員会・ちょっといい話 | 8 |
| ⑥ 善意銀行・4社からの寄贈 | 9 |
| ⑦ インフォメーション | 10 |



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

令和3年度

社協事業報告および決算報告

法人運営事業

★理事会・評議員会の開催および監査の実施

理事会は法人の経営方針を決定し、評議員会は理事とは異なる立場から意見を述べる機関。

★広報委員会の開催

「かさま社協だより」の発行に向けて開催（年3回発行）。



★社協会員（一般・特別・法人）の加入推進

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため会員を募集。

地域福祉事業

★支部・地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部地区社協（27カ所）を設置。

「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指す。

★低所得者福祉事業

①小口資金貸付事業

生活に困窮している世帯に、緊急的に必要とする生活費を貸付。

②生活福祉資金貸付事業

安定した生活が送れるように資金を貸付（県社協にて審査）。

また新型コロナウイルスの影響で失業や減収した世帯へ生活費を貸付。

③フードバンク

NPO法人フードバンク茨城、(株)カスミフードスクエア友部店および(株)ファミリーマート市内7店舗の協力を得て、生活に困っている方へ食料品等を配布。また「きずなBOX」を市内7カ所に設置。

④ひきこもりサロン

ひきこもり状態にある方の社会参加を目的に、月1回開催。

★心配ごと相談所の運営

日常生活の困りごとや問題解決に向けたアドバイスを行い、専門性が高い場合には弁護士による法律相談を実施。

★ボランティアアセンタース事業

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集および提供など。

★共同募金配分事業

子どもや高齢者、障がいのある方をはじめ、支援を必要とする方々への支援。



★善意銀行の運営

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて活用。

★福祉バス

福祉関係団体等が研修に活用し、より効果的な事業運営を推進（コロナにより運行中止）。

★コロナ支援事業

社協版「ASAMABOX」支援
ひとり親世帯や生活困窮世帯に、お米と日用品を支給（県共同募金会地域福祉特別助成を活用）。



★デジタル活用支援推進事業

高齢者を対象にスマートフォン、パソコンの使い方やサービス利用の方法を学ぶ講習会を実施。



受託事業

★地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住みなれた地域で安心して暮らせるように地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援。

★日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理等を支援。

★生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮している方が抱える様々な問題に対応し、自立した生活を営めるように支援。また今年度から家計改善支援を実施。



★在宅福祉サービス事業

高齢者や障がい者、子育て世帯が安心して生活できるように、福祉サービス（家事支援・移送サービス・子育てサポート）を提供する住民の参加と協力による会員制の有償サービス。

★在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業

重度身体障がい者等を対象に、身体の清潔保持、心身機能の維持向上を図るため、自宅に浴槽を搬入して入浴サービスを提供。

★移動支援事業

障がい者等を対象に、社会参加のため外出時にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援。

★手話奉仕員養成講座

日常会話に必要な手話表現技術を習得し、聴覚障がい者等が自立した生活を営むことができるように支援。



指定管理業務事業

★地域福祉センター事業の経営

地域福祉センター「ともべ（A館・B館）」・「いわま」の経営。

就労継続支援事業

★障害者就労継続支援B型事業

心身障がい者が通所により、社会訓練や作業訓練を行い、福祉的就労の場を提供。



介護保険事業・障害者自立支援事業

★居宅介護支援事業

★訪問介護事業

★訪問入浴介護事業

介護認定を受けている方に、ケアプランの作成、訪問介護、訪問入浴のサービスを提供。

★自立支援居宅介護事業

障がいのある方に、ヘルパーによる身体・家事等のサービスを提供。

介護予防・日常生活支援総合事業

★通所型サービス

「いきいき通所事業」

高齢者の生きがいづくりと介護予防を目的として、専門性および身体介護を伴わない通所型サービスを提供。



★訪問型サービス

「ふれあいサポート事業」

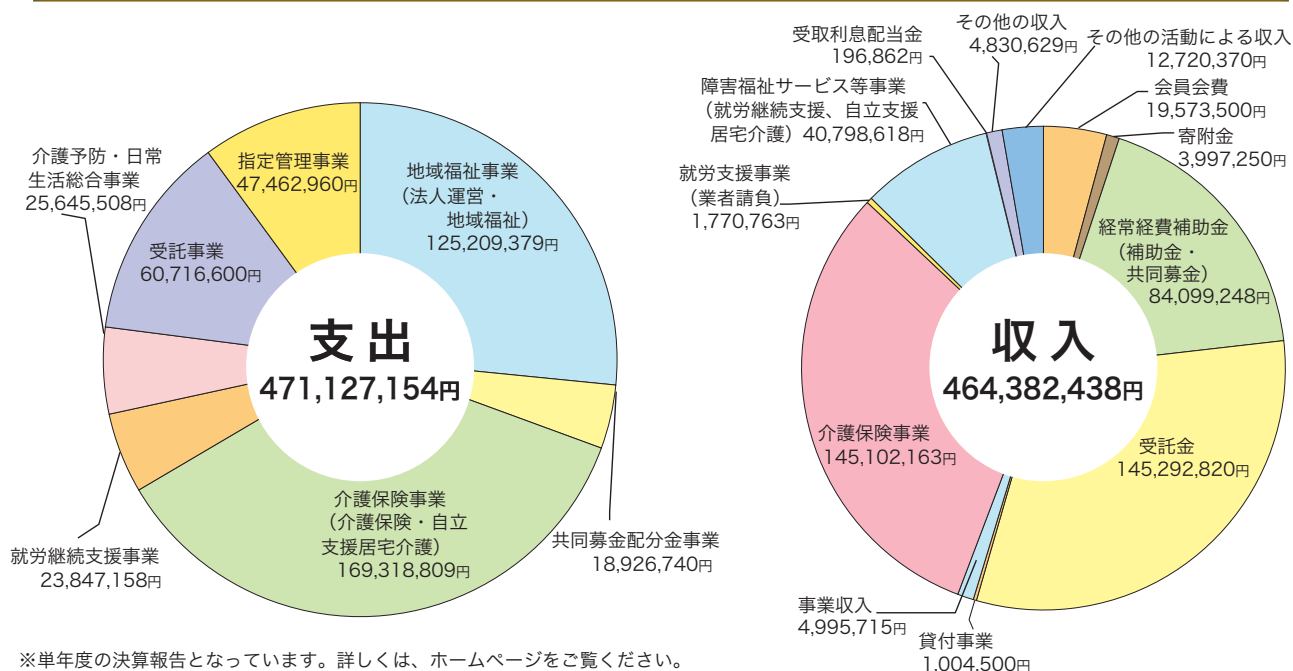
身体介護を伴わない生活支援を行い、高齢者が安心して日常生活を過ごすことができるように支援。

★生活支援体制整備事業

医療・介護の専門的なサービスのみのみではなく、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加を推進。



令和3年度 収支決算報告



『社協』を知っていますか？

新入職員紹介

その⑦

みなさんの憩いの場となる社協を目指します！

私は『赤い羽根共同募金』を担当しています。笠間市の子ども・高齢者、障がいのある方等を支援するため、配食サービスやひきこもりサロン、人々をつなぐ福祉活動や災害時の備蓄に募金が使われています。

今後も笠間市民のみなさんの生活をより豊かにするための仕組みを作っていきたいと思います！

(播田実 ちひろ)



みなさん、こんにちは！ 私たちは、4月から社協職員として本所で奮闘しています。みなさんが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、新人ならではの新しいアイデアで笠間市をよりよい町にしていきたいと考えています。

最近、皆さんに社協のことを知ってもらうために、情報発信にも力を入れています。SNSも積極的に更新しているので、裏表紙にあるQRコードからチェックしてみてください。



みんながいきいきした地域に！

私は『いきいき通所』という高齢者の介護予防と生きがいづくりを目的とした事業を担当しています。地域の高齢者の方をサービス利用へつなぎ、楽しく過ごしていただけるような内容を考えています。

今後も「これからも通いたい」と思えるサービスが提供できるよう頑張ります！

(吹野 愛奈)



生活の不安を一緒に減らしましょう！

私は『日常生活自立支援事業』の担当として、利用者の皆様のお金の使い方を一緒に考えたり、サービスを利用する手続きのお手伝いをしています。

私たちは職員である前に利用者の皆様との人と人の信頼関係が大切と考えています。今後も利用者の皆様に信頼される職員を目指します！

(金川 茉那美)



間区 岩地

ふれあいサロンあゆみ 4年目を迎えて

代表 神 衛

ふれあいサロンあゆみは平成31年1月、吉岡二区長寿会とスクエアステップ同好会の協力の下「ふれあいサロンあゆみ」と名付け設立しました。あゆみの活動費は社会福祉協議会と吉岡二区自治会より援助を受けて、月1回第3金曜日を開催日と定めて活動しております。

吉岡は地名に呼ばれております通り、地理的に恵まれた土地であります。

吉岡二区は先人たちが築いてくれた前庭の広い会館で、子ども会から長寿会まで楽しく活動の出来る良い会館であり場所であります。



洋間で柔軟体操



間隔を空けて歓談中

ふれあいサロンあゆみのサロン活動には、もってこいの会館であり場所であります。あゆみの活動は洋間と和室を使い分け、洋間では椅子を使い社協からの連絡事項や柔軟体操・発声練習や遊戯を主体に、その後、和室では机を囲んでのおしゃべり時間、お茶を飲みながら詩歌の朗読等を行っております。

4月1日新元号『令和』と発表があり、出典は『万葉集』とのこと…。そこで『万葉集』の巻5、梅花の歌32首の序を

岩波書店「日本古典文学体系」と、文庫の『万葉集』の漢文と読み下し文を読みあいました。

天平2年大宰府の帥大伴旅人宅での正月の催しで詩「漢詩」でなく「和歌」を大和ことばの日本語で表現したこと

の意義を勉強しました。こうして1年目は和室では詩歌の朗読等を取り入れ

ました。しかし、2年・3年目はコロナ禍で規制が加わり、集会を心配しました。対策を徹底して、現在に至っております。

2年目から百人一首書写を始めました。今は和室を使わず自宅に持ち帰って書写してもらっております。

小倉百人一首が笠間市と深く関わり、笠間時朝に思いはせ心して書写を続けたい。コロナ禍からの解放を願って！



ふれあいサロンの様子は
こちらから



大勢が参加した交流会

7/12 3年ぶりのサロン交流会 地域福祉センターともべ

地域住民が身近で気軽に集まることのできる場所をつくり、参加者同士の交流や健康づくり、閉じこもり防止などを目的に楽しく仲間づくりを行う活動がふれあいサロンです。

今回は、市内サロン21カ所と新規立ち上げ検討団体2地区の代表35人が出席。市内サロンが一堂に集まる交流会は3年ぶりです。各地区のサロンの活性化や仲間づくりにつながるよう支援し、ふれあいサロンがさらに盛り上がることを目的として開催されました。



グループに分かれての話し合い

初めに2つの企業から無料で「健康講座」や「シニア教室」などを行っているという話を聞き、早速取り入れたいサロンも…。次に、6つのグループに分かれて意見交換があり、その中で特に印象に残ったのは、「活動の場所が建物の3階で行っているの、上がるのが大変。何とかエレベーターをつけてほしい」「高齢になり公民館へ行くのが大変になり友だちの車で送迎してもらって良いものか悩みます」などの話があり、車の送迎はどのグループでも今の課題のようです。また「3年ぶりの交流会が行われ、他のサロンでの活動が分かり参考にした」という意見が多くあり、今回の交流会も楽しみにしていると笑顔で散会となりました。

(関)

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、長座布団づくりを行いました。満足にできあがった作品に、笑顔も晴れやかでした。40年間続いた「あかざ会」の昼食会も、配食ボランティアとして再出発です。福祉体験に参加したみなみ学園義務教育学校の皆さん、障がいを持つ人の大変さが少しでも理解できたようです。手作り紙芝居や読み聞かせ活動を続けている会「いずみ」が、友部ロータリークラブより表彰されました。恒例の「夏休みわくわく体験教室」がコロナのため中止。楽しみを奪われた子どもたちの寂しそうな顔が目につきます。

5/11

参加者 6人
ボランティア 5人



4/20

参加者 7人
ボランティア 5人



満足！満足！

「第二火曜日の会」

綿で長座布団をつくってみよう

地域福祉センターともべ

「家に綿がある」「子供の頃手伝ったけど自分でつくってみたい」などの声が聞かれました。長座布団づくりを募集したところ、多数の申し込みがあり、2回に分けて行うことになりました。

講師はボランティアサークル「手づくり会」の皆さんです。

次回の予告

令和4年9月6日（火）
地域福祉センターともべ
研修会「防災について」



③ふさ止めをしてでき上がり



②みんなで協力して綿入れ



①材料をそろえ説明を受ける



昭和57年から「心をつなぐ夕食会」として、いいこの家はなさかゝにてスタート。会場を友部公民館等に移して、昼食会に変更。福祉会館完成後は料理を「あかざ会」が、高齢者送迎と会食会の企画進行を「友・愛わだちの会」が担当してきました。

この度のコロナ禍3密回避で会食会が難しくなり、この2年余りは配食で対応してきました。最近、会食より配食の利用者が圧倒的に多く、残念ながら40年間の会食会を幕引きすることとなりました。



新メンバーも加わり12人で

40年間の会食会に幕引き
これからは配食にて

友・愛わだちの会
代表 栗原 四郎

令和4年5月から配食ボランティアとして活動しています。会食会の運営に協力いただいた市の出前講座・社協のボランティアサークルの皆様ありがとうございました。

これからは、「あかざ会」の温かい手作り弁当を、速やかにお届けする活動を続けます。次の50年を目標にしていきます。よろしく願いします。

こんな活動が
お役に立っています

ボランティアサークル「三六の会」では毎月、市内の聴覚障がい者の方を対象に「広報かさま」の点訳を行い、郵送でお送りする活動を行っています。

皆様のご家族や友達、身近な方々で、送付をご希望の方がいましたら、是非ボランティアセンターまでご連絡ください。

問い合わせ

ボランティアセンター
0296(78)2626



上手に誘導して



「車いす体験」を市内の老人保健施設すみれの職員2人が、「アイマスク体験」をボランティアの大月裕美さんが講師で、6年生12人に指導していただきました。

2人がひと組になり、車イスでは段差の昇り降りに苦戦しましたが、しっかり時間をかけて体験しました。

アイマスクでは、階段はもちろん手洗い場での水道の出し方、シャンプー、牛乳、本など生活用品の扱い方を通して、目の不自由な方の日常生活を体験しました。



段差を乗り越え

7/14

みなみ学園義務教育学校

市内の小・中学校で、福祉体験を行いました。

福祉体験



表彰されたみなさん

誰かに癒され誰かを癒して いずみ代表 根本 美弥子

この度、友部ロータリークラブより褒賞状を頂き、ひとしお感慨無量です。

長年、幼児施設や福祉施設、地域の方々へ、手作り紙芝居や読み聞かせを行う福祉活動が続けてまいりました。地道な活動に一隅の光を当てていただくと感謝しております。皆様と触れ合う中で、柔らかな心と表情にたくさんのお優しさを感しました。「楽しかった。」

た。また来てくださいな」の言葉のビタミン剤はとても励みとなります。ボランティア活動を通して『私達は独りで生きているのではなく、誰かに癒され、誰かを癒しているのだ』と教えられました。



令和4年度 夏休みわくわく体験教室 コロナ感染拡大で中止にしました

福祉体験など12教室 物づくり9教室 クッキング4教室

7/25 ポッチャ体験(ともべ)	7/24 竹細工の水鉄砲(ともべ)	7/28 手打ちそば(いわま)
7/26 点字(ともべ)	7/27 はり絵(ともべ)	7/31 手打ちそば(ともべ)
7/27 手話(いわま)	7/28 貝殻水族館(ともべ)	8/ 4 ジャムづくり(ともべ)
7/27 みんなで楽しく体操と物づくり(いわま)	7/28 ゴキちゃんコロリ(かさま)	8/12 ピザづくり(いわま)
7/28 点字(いわま)	8/ 1 工作B(かさま)	
7/29 手話(かさま)	8/ 3 パステル和みアート(かさま)	
7/29 ポッチャ体験(いわま)	8/ 4 工作A(かさま)	
7/29 リハビリ体験(ともべ)	8/ 5 手づくりアクロウづくり(ともべ)	
7/31 防災訓練(ともべ)	8/10 ミニかごづくり(いわま)	
8/ 2 手話(ともべ)		
8/ 2 スクエアステップ(いわま)		
8/ 2 ポッチャ体験(かさま)		

来年お待ちしております



竹細工の水鉄砲作りで事前に準備するボランティア

夏休みキッズ教室 延期になりました

『読み聞かせ教室』

地域福祉センターともべ

講師 フリーアナウンサー

高信 佳子氏

『仕事とお金のお話』

地域福祉センターともべ

講師

茨城NPOセンターコモンズ

根本 久子氏

支部・地区社協運営委員が決まりました

【笠間地区】

支部・地区名	役 職	氏 名
上加賀田支部「まなだけ会」	会 長	富 田 哲 夫
大 橋 支 部	運営委員長	森 和 以
来 栖 支 部	会 長	足 立 雅 幸
「四つ輪の会」		
寺 崎 支 部	会 長	川 俣 昌 広
「しんこ会」		
箱 田 支 部	会 長	大 月 弘 之
「ふれあい会」		
下 市 毛 地 区	運営委員長	大 波 誠 一
13区社会福祉協議会「さかえ会」	運営委員長	古 木 滋
高 田 支 部	運営委員長	塚 本 正 三
稲田支部「みかげ会」	支 部 長	宮 崎 守
池 野 辺 支 部	支 部 長	川 松 喜 一
福 原 支 部	支 部 長	深 谷 敏 知
安心ネットワーク「柏」	運営委員長	津 下 孝 夫

【友部地区】

〈敬称略〉

支部名	役 職	氏 名
宍 戸	支 部 長	雨 谷 高 市
東	支 部 長	鈴 木 義 雄
中	支 部 長	荒 張 晴 夫
大 央	支 部 長	平 林 英 男
北 旭	支 部 長	鈴 木 裕 孝
大 根	支 部 長	高 柿 義

【岩間地区】

地区名	役 職	氏 名
上 押 辺	運営委員長	中 野 弘 一
吉 岡 2	運営委員長	高 澤 正 友
下 安 居	運営委員長	笹 嶋 文 夫
土 師	運営委員長	塩 畑 修 一
南 部	運営委員長	矢 口 貢
安 居 東 部	運営委員長	岡 野 芳 彦
新 渡 戸	運営委員長	長谷川 三千男
参 り 坂	運営委員長	藤 田 繁 好
岩 間 西 部	運営委員長	生 駒 敏 文

広報委員会、こんなふうに行っています

『社協だより』を年3回発行します。毎回、5回程度の会議を開催し、打ち合わせ、取材、原稿作り、印刷所への入稿・校正を行い発行にこぎ着けます。



打ち合わせ

取材



原稿づくり

入稿・校正



完成



2年間よろしく願います
4月からの新たな広報委員10人（下記）が決まりました。
事務局からは、富田英夫さん（本所）、柿長志生里さん（本所）、釣勝彦さん（笠間支所）、園部貴代美さん（岩間支所）が加わり、計14人で会議を行います。
社会福祉協議会の様々な取り組みや、地区社協の活動、ボランティアサークルの活動などをお伝えしていきます。（藤森）

笠間市社会福祉協議会広報委員

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

氏 名	地 区	氏 名	地 区
入 江 勇 太	笠 間	◎ 藤 森 博 夫	友 部
○ 飯 野 千 賀 子	笠 間	高 野 康 司	友 部
○ 関 令 子	友 部	塙 敦 子	友 部
白 土 昌 夫	友 部	石 郷 岡 誠	岩 間
新任 寺 門 常 康	友 部	畠 山 好 文	岩 間

◎は委員長 ○は副委員長

す。
（入江）

敏感に気づいて声をかけることが特効薬だと思いま

きる子どもたちの変化に、

り、過酷な状況下で日々生

ます。私たちの幼少時代よ

人の心がけで防ぎ治療出来

しかし、これは私たち大

を患わせています。

ずその影響が社会に間や病

す。ですが、罹患に関わら

を防ぐことが可能な疾病化

接種」など、予防や重症化

い・適切な距離・ワクチン

います。

せないことが問題となっ

で抱え込む傾向も浮き彫り

となり、正しくSOSを出

国立成育医療研究セン

ター（東京）調査では、小

学校高学年から中学生の子

ども1／2割にうつ症状が

ありました。また、家庭内

ありますが、これでもいいので

しょうか。



余儀なくされ、
当初は困惑し、
現在では多くの大
人が慣れてしま
った節がありま
す。



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和4年3月1日～令和4年6月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など

滝本紀一
秋山洋子
石井勇
潮田昭子
岡山松夫
菊池なか
郡司かつ江
関紫芳
竹内藤男
鶴田光男
羽持正夫
持丸一幸
額田義文
笠間ふれあい電話ボランティア
(有)飯田自動車
イチカワユニオン岩間支部
(有)伊藤石材工業
岡本興業(株)
(有)笠間給食センター従業員一同
(株)笠間ソフトメン橋本屋
(株)ダイナム
カントリークラブザレイクス
キャノンモールド(株)
(株)スリーC
セキスイハイム工業(株)関東事業所
仙波建設(株)
泰栄電器(株)
タカラ(株)笠間工場

ファミリーマート友部東平店
不二製油(株)関東工場
松島製菓
県立友部高等学校JRC部
岩間中学校
友部第二中学校
友部中学校
岩間第一小学校
稲田小児童クラブ
岩間第一小児童クラブ
大原小児童クラブ(ポプラクラブの
会)
穴戸小児童クラブ
友部小児童クラブ
なかよし学童保育の会みなみ学園児
童クラブ
岩間保育園
大沢保育園
おしのべ保育園
ともべ保育所
ひまわり保育園
みか保育園
すみれこども園
大成学園かさまこども園
めぐみこども園
ともべ幼稚園
岩間公民館
大沢中3区
柿橋団地きらくの会
更生保護女性会笠間支部
更生保護女性会友部支部
更生保護女性会岩間支部

手をつなぐ育成会
旧高齢者クラブ原宿会
サロンいけのべ
秀芳会笠間支部
土師地区社会福祉協議会
日吉町区
オリーブ友部館
県立中央病院(施設課・消毒室・リ
ネン室)
(福)木犀会くらしサポートセンター
(福)木犀会ケアハウス悠
(福)木犀会花の郷
(福)木犀会ひまわり館
匿名(2件)

金 銭

加藤チヒロ	100,000
佐藤幸寿	5,000
バザー夢工房	80,000
ボランティアサークル ナマステの会	20,000
(有)飯田自動車	19,507
(有)笠間給食センター 従業員一同	2,652
KJD会代表池田昌美	10,183
阿亀親睦ゴルフコンペ	41,700
柿橋団地きらくの会	3,000
旧高齢者クラブ原宿会	2,743
ひまわり子ども会	12,372
友粋会	14,736
匿名(4件)	211,307

4社から寄贈いただきました。ありがとうございました。



ボランティアサークル「バザー夢工房」様
より寄付金をいただきました。



阿亀親睦ゴルフコンペ様より
寄付金をいただきました。



(有)飯田自動車様より寄付金を
いただきました。



(株)ダイナム様より食品を
いただきました。

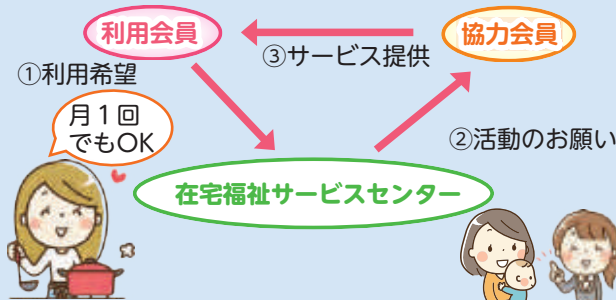
インフォメーション *information*

在宅福祉サービス 協力会員募集

在宅福祉サービスは「困った時はお互いさま」の精神で地域に住む人が安心して生活できるよう家事や育児などの手伝いをする有償サービス（1時間700円）です。

社協では、協力会員を募集しています。掃除・洗濯・調理など家事全般や病院への送迎、子育ての手伝いなど、在宅福祉サービス活動の担い手としてご協力ください。

※移送サービスの活動は、講習会に参加し修了証を受け取ってからとなります。



お問い合わせ お申し込み先 在宅福祉サービスセンター TEL 0296-78-3939

いきいき通所に来てみませんか？

いきいき通所は高齢者の介護予防を応援する通いの場です。おしゃべりや軽い運動、レクリエーションなどをやりながらたくさん笑って楽しい一日を過ごしてみませんか？

見学や体験もできますので、まずはお気軽にご連絡ください。



お問い合わせ

本所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889

お気軽に
どうぞ！



心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください（無料・秘密保持）

時間：13:00～16:00（受付は15:30までをお願いします）

場所	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
9月	13日・27日	14日・28日	1日・15日
10月	11日・25日	12日・26日	6日・20日
11月	8日・22日	9日	17日
12月	13日	14日	1日・15日

※その他、法律相談もあります。

「フードバンク活動」にご協力を

社協では、様々な理由で廃棄される食品をいただき、生活困窮世帯へ配布しています。



＜お預かりする食品＞

お米、乾麺類、缶詰、レトルトなど、賞味期限が2カ月以上のもので

※生鮮食品はお預かりできません。

令和3年度
お米：1,322Kg
食品：595.4Kg
（缶詰、乾麺など）
ありがとうございました。

点字プリンターを購入しました

公益財団法人 車両競技公益資金記念財団からの助成金により、点字ボランティア「三六の会」が購入しました。点字本などの印刷がスピーディーで便利になりました。



お詫びと訂正

6月16日の区長文書で回覧された令和3年度『笠間市社会福祉協議会会員会費報告書』について、「滝川1」に誤りがありました。お詫びを申し上げますとともに訂正いたします。
滝川1（10ページ）

【誤】：NDK 株式会社

【正】：NOK株式会社

天然痘に似た感染症「サル痘」が忍び寄ってきているという。「濃厚接触しなければ、人から人へは容易に感染しない」とのこと。コロナ同様、3密対策が大切のようだ。
ロシアのウクライナ侵攻によって、物価高騰など市民生活にも影響が出てきている。支援を必要とする人の増加がとてつもない。社協の役割が益々重要になってきた感じがする。
広報委員にも新しいメンバーが加わり、また違った視点・角度から社協の情報を皆様にお伝えできればと思う。
（高野）

編集後記



SNSのご紹介



公式HP

